# 生物多様性の保全

私たちの企業活動は、土壌、大気、水、動植物などからなる自然資本から提供される様々な生態系サービスに依存しています。 一方、生物多様性は、世界各地で様々な危機に瀕しており、国際的な枠組みであるSDGs(目標14、15)の達成のためにも、企業 は生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用が求められています。

クボタグループは「生物多様性の保全」をマテリアリティの一つとして捉え、企業活動や製品・サービスの提供、社会貢献活動において、自然資本に与える影響をふまえ、生物多様性の保全や自然環境の保護に配慮するようつとめています。

これらをふまえ、環境保全中期目標2025から各拠点の特色や事業内容に合わせた生物多様性保全活動の目標設定を開始し、 その活動の進捗状況を確認しています。

#### 生物多様性保全の考え方

クボタグループは、環境保全の基本5項目の一つとして「生物多様性の保全」を定めています。2009年12月に「クボタグループ環境基本行動指針」に生物多様性に配慮した企業活動を織り込みました。また、2010年に環境大臣へ提出した「エコ・ファーストの約束」の中でも、生物多様性の保全のための活動を推進することを掲げています。

## 生物多様性保全の考え方

クボタグループは、「生物多様性の保全」を環境保全の基本5項目の一つとし、企業活動や製品・サービスの提供、社会貢献活動において、自然資本に与える影響をふまえ、生物多様性の保全や自然環境の保護に配慮するようつとめます。

#### 【主な取り組み内容】

#### 1. 企業活動

- ① 設計開発段階では、製品環境アセスメントを実施し、自然資本に与える影響評価を実施します。
- ② 調達段階では、サプライヤーへ「グリーン調達ガイドライン」を提示し、生物多様性への配慮を要請します。
- ③ 生産・物流段階では、事業所の操業や物資の輸送にともなう環境負荷低減や環境リスク管理につとめます。
- ④ 環境マネジメントの一環として、従業員への環境教育や意識啓発を実施し、生物多様性の価値と保全活動の重要性に対する認識を深めます。
- ⑤ 環境コミュニケーションの一環として、生物多様性保全に関する取り組みなどの情報発信につとめます。

#### 2. 製品・サービスの提供

- ① 低燃費や排出ガスのクリーン化など、環境負荷の少ない製品・サービスの提供により、生物多様性への影響低減につとめます。
- ② 汚水処理や廃棄物処理などの水環境ソリューションの提供により、動植物の生息・生育環境の改善に貢献します。
- ③ スマート農業や環境に配慮した都市基盤整備などに寄与する製品・サービスの提供により、生態系サービスの持続可能な利用に貢献します。

#### 3. 社会貢献活動

- ① 社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の耕作放棄地再生支援活動や里山・森林の保全活動などを通して、自然環境の保護を推進します。
- ② 事業所構内や周辺の美化・緑化や地域の動植物保護を推進します。

72 HIGHLIGHT 2021 ENVIRONMENT SOCIETY GOVERNANCE

## 生物多様性との関わり

#### クボタグループの生物多様性との関わり



## 資源の過剰消費や 土地改変による影響

動植物の生息・生育環境の悪化や変化、 外来種の移入による生態系の破壊

# 気候変動や 大気・水質・

土壌汚染による影響

動植物の生息・ 生育環境の悪化、 植生や生物相の変化



#### 製品使用・施工・ 廃棄に必要な資源

部品、生物資源 (種苗など)、 薬品(農薬など)、 エネルギー、水資源

# 土地利用

農地、処理場など

# 製品使用・施工・ 廃棄による環境負荷

CO<sub>2</sub>、排気、排水、 廃棄物、騒音・振動

INPUT





**製品・サービス** (使用・施工・廃棄)



# 企業活動にともなう環境負荷の管理・削減活動

クボタグループでの活動による環境負荷を削減し、 生物多様性への影響に配慮する。

- ・グリーン調達
- ・土地利用の際の環境影響評価
- 気候変動への対応(省エネなど)
- ・循環型社会の形成(省資源化、廃棄物の3Rなど)
- ・水資源の保全(水資源の3Rなど)
- ・化学物質の管理 (有害懸念物質の使用量削減、VOC排出量の削減 など)
- ・環境マネジメント (大気・水質・土壌汚染の防止、従業員への環境教育など)

#### 社会貢献活動による貢献

NPO法人などと連携し、自然環境保護につとめる。

- ・クボタ eプロジェクト (耕作放棄地再生支援、クボタの森、小学生の自然体験 など)
- ・クボタ eデー (環境美化ボランティア)
- ・事業所内外の緑化
- ・地域の動植物の保護

#### 製品・サービスによる影響の低減や貢献

製品・サービスの使用・施工・廃棄による影響を低減し、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に貢献する。

#### [影響の低減]

- ・製品環境アセスメント
- ・環境配慮製品の開発 (省エネ化、省資源化、大気・水質・土壌汚染の防止 など)

#### [貢献]

- ・汚水処理や廃棄物処理などの水環境ソリューションの 提供
- ・スマート農業や環境に配慮した都市基盤整備などに 寄与する製品・サービスの提供

# 事業所での取り組み

# 水源地の清掃活動に参加



クボタ東北支社では、仙台市の官民連携事業「青下の杜プロジェクト」に参加し、水源林の森林保全活動を実施しています。

2020年度は水源涵養林の伐採作業や、落ち葉回収を行いました。

# 荒廃竹林の伐採活動に参加



株式会社クボタケミックス小田原工場では、環境省が提唱した地域 循環共生圏づくりプラットフォーム事業を小田原市と協力して実施し ています。

2020年度も他社とも協力し荒廃した竹林の伐採を行いました。

# 工場敷地内での植樹活動の実施



2020年6月、SIAM KUBOTA Metal Technology Co., Ltd. (タイ)は、工場敷地内の植樹活動を実施しました。活動には77人の従業員が参加し、110本の木を植樹するなど、工場の緑化につとめています。